

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		交通安全協会及び交通安全協議会に対する補助金・分担金				整理番号	581	枝番号				
担当部課名		都市整備部交通対策課		コード	221304	連絡先 電話番号	3553	昨年度 整理番号	599	昨年度 枝番号		
係名 交通対策係					上位施策名			No				
予算事業名 交通安全運動推進					コード		61700		交通安全の推進		6	
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成			40 年度			<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード	
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理			<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	対象			<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 ・補助金－杉並・高井戸・荻窪交通安全協会、杉並区交通安全協議会 ・分担金－杉並区交通安全のつどい主催団体(区・警察・交通安全協会)			根拠法令等 (1) 地方自治法第2条第8項 (2) 平成18年度交通安全協会、交通安全協議会補助金交付要綱 (3) 平成18年度交通安全のつどい実施要綱					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			・地域における交通安全運動の核となる各交通安全協会に対して、補助金を交付する。(交通安全協議会についても同じ) ・区、警察、交通安全協会共催で、広く区民に交通安全思想の普及・浸透を図るため、杉並区交通安全のつどいを年1回開催する。			事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) ・各種団体の事業に要する経費の一部又は全部を補助することで、交通事故防止を目的とした活動を積極的に実施する。 ・広く区民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通安全の気運を盛り上げるための交通安全のつどいを開催する。					
	活動指標名(式)			(1) 交通安全協会が交通安全啓発活動を実施した延べ日数 (2) 杉並区交通安全のつどい参加者数			成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 区内の交通事故件数 (2) 交通安全協会加入者数・団体数					
指標	区分		単位	16年度 実績	17年度		18年度		19年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する18年度 の達成率%	
	活動指標(1)		日	303	303	369	300	332	300			
	活動指標(2)		人	900	580	550	600	550	800			
	成果指標(1)		件	3,206		3,151		2,874				
成果指標(2)		件	2,260		2,098		2,001					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	5,301	5,324	5,405	4,714	4,690	5,014	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等		千円									
	(内) 委託費		千円									
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.33	0.27	0.18	0.30	0.18	0.20	補助金適正化審査会の 提言を受け、18年度 の事業費は、交通安全 協会に対する補助金 を一所132万円から1 25万円に減額してい る。		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	3,003	2,446	1,631	2,718	1,631	1,812			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	8,304	7,770	7,036	7,432	6,321	6,826			
	単位あたりコスト(-)÷		円	27,406	25,644	19,068	24,773	19,039	22,753			
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	8,304	7,770	7,036	7,432	6,321	6,826				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
18年度の主な取組み			内 容					規模	単位	事業費(千円)		
			交通安全協会及び交通安全協議会に対する補助金・分担金							4,656		
			事務経費							34		
			その他 ()							0		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 581 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	110.7	活動指標(2)の 18年度達成率%	91.7	18年度予算 執行率%	99.5
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		地域における交通安全運動の核となる杉並・高井戸・荻窪交通安全協会と杉並区交通安全協議会に交通安全対策事業費補助金を交付した。また、広く区民に交通安全思想の普及・浸透を図るため、9月に社会教育センター(セッション杉並)にて「杉並区交通安全のつどい」を開催した。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	・区内の交通事故件数 平成2年...1,749件 平成12年...3,551(ピーク) 平成18年度...2,874件 ・交通安全協会加入者・団体数 平成7年度...3,195人 平成18年度...2,001人					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	夜間無灯火での自転車走行や二人乗りなど、交通ルールを守らない悪質な自転車利用者に対し、正しい交通ルール・マナーを周知徹底させてほしいとの要望が多い。					
	今後の予測	今後、更に交通安全協会加入者・団体数の減少に伴い、交通安全協会年間予算の減額によって、交通安全啓発事業規模の縮小につながるものが危惧される。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由: 交通事故のない安全で快適なまちづくりを実現していくためには、区内全域で地域の特性にあった交通安全啓発活動を実施している交通安全協会の協力が必要である。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 補助金適正化審査会の提言に基づき、区内3交通安全協会に対し、より一層の補助金の適正な使用について指導するとともに、補助対象経費を具体的に明示した補助金交付要綱へ改正を行った。杉並区交通安全のつどいについては、地域の人々が広く参加できるように内容等を見直す。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容: 交通安全のつどいについては、区・各警察署・各交通安全協会の共催で開催しており、経費の分担制を見直すことは可能と考える。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容)	理由または具体的内容: 交通安全のつどいについては、開催内容の見直しを行うことにより、コストを下げることは可能である。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^)	協働等による成果と課題 交通安全協会は主に会員収入により運営されている。区は事業費の一部を補助しているに過ぎず、交通安全に関する専門知識を有する団体として、区及び警察の交通安全啓発活動業務を補完する上で、重要な役割を果たしている。ただし、補助金の適正使用と用途の明確化に努めるように、区は監督・指導を行っていく必要がある。また、交通安全のつどいについては、区・各警察署・各交通安全協会の共催で開催しているが、経費の分担制について再度検討を行う。					
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 地域における交通安全運動の核となる各交通安全協会に対する補助金については、現状を維持していく。また、区内3交通安全協会に対し、より一層の補助金の適正な使用について、引き続き指導を行っていく。 杉並区交通安全のつどいについては、地域の人々が広く参加できるよう必要に応じて内容等を検討する。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 交通安全のつどいの内容等については、企画段階から見直しを要するため、警察・交通安全協会と協議・調整を行う必要がある。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 各交通安全協議会に対する補助金が、地域における交通安全啓発活動に有意義に活用されるよう、適正使用及び用途の明確化について監督指導を行っていく。 杉並区交通安全のつどいについては、区における交通安全啓発事業のうち最大イベントであるため、より多くの区民が参加できるよう、関係団体と協議を行う。また、開催経費の費用分担についての見直しに向けた協議を行う。	

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		交通安全啓発活動委託					整理番号	582	枝番号		
担当部課名		都市整備部交通対策課		コード	221304	連絡先 電話番号	3553	昨年度 整理番号	600	昨年度 枝番号	
係名 交通対策係					上位施策名			No			
予算事業名 交通安全運動推進					コード	61700		交通安全の推進			6
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		8 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業		政策番号	施策番号	事業コード
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等		
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 杉並・高井戸・荻窪地域交通安全活動推進委員協議会				(1) 地方自治法第2条第8項 (2) 交通安全対策基本法第4条、第18条第1・2・3項 (3)				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		高齢者や自転車利用者に対する交通安全啓発活動等を、交通安全の専門性の高い、地域の人々の集まりである地域交通安全活動推進委員協議会に委託する。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		・高齢者の交通安全意識を向上させ、高齢者の交通事故を防止する。 ・自転車利用者に対して、安全運転の意識とマナー向上の醸成を図り、自転車が関係した交通事故を防止する。		
	活動指標名(式)		(1) 交通安全啓発活動を実施した延べ時間数 (2) 交通安全啓発活動に参加した延べ人数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) 区内における高齢者の交通事故件数 (2) 区内における自転車が関係した交通事故件数		
指標	区分	単位	16年度 実績	17年度		18年度		19年度 計画	目標値 22年度	目標値に 対する18年度 の達成率%	
	活動指標(1)	時間	543	543	515	543	470	500			
	活動指標(2)	人	471	471	484	471	470	471			
	成果指標(1)	件	468		548		524				
	成果指標(2)	件	1,065		1,104		1,047				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	494	495	468	495	428	495	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)	
	(内) 投資的経費等		千円								
	(内) 委託費		千円	494	495	468	495	428	495		
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.33	0.27	0.18	0.30	0.18	0.20		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	3,003	2,446	1,631	2,718	1,631	1,812	
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	0	
	総事業費 + +		千円	3,497	2,941	2,099	3,213	2,059	2,307		
	単位あたりコスト(-)÷		円	6,440	5,416	4,076	5,917	4,381	4,614		
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	3,497	2,941	2,099	3,213	2,059	2,307			
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
18年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)		
		広報活動費							428		
		その他 ()							0		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 582 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	86.6	活動指標(2)の 18年度達成率%	99.8	18年度予算 執行率%	86.5
		地域交通安全活動推進委員協議会に対して、自転車の安全利用に関する啓発活動、高齢者に対する交通安全啓発活動、その他の交通安全啓発活動を委託し、同協議会は契約どおり実施した。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		平成16年度の委託契約から「自転車の安全利用に関する啓発」を加えることにより、現在の交通事故実態に即し、より効果的な活動内容となった。今後も、更に効果が上がるよう委託契約の内容を検証していく。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	・区内の高齢者人口 平成8年...74,172人 平成18年...97,606人 ・区内における高齢者の交通事故件数 平成8年...214件 平成18年...524件 ・区内における自転車が関係した交通事故件数 平成8年...481件 平成18年...1,047件					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	全体の交通事故件数に比べ、自転車が関係した交通事故が増えており、自転車の安全走行啓発についての要望・苦情が多い。					
	今後の予測	高齢者人口が増加(平成22年予測102,432人)し、高齢者の交通事故が増加すると考えられる。また、自転車が関係した事故の増加など、近年の交通事故は、個人の交通安全意識の低下やモラルの欠如が起因しており、今後も交通安全全般に対する意識の啓発を、より強化していく必要があると思われる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由:交通安全啓発活動は、交通事故のない安全で快適なまちづくりを実現するために欠かせない活動であり、今後も継続していく必要がある。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:委託内容を見直し、交通実態に即した内容とすることで、効果を向上させる。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:事業の性質上、受益者負担はない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:実際に活動した時間に対してのみ対価を支払っているため、コストを下げることはできない。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^)	協働等による成果と課題 交通安全に対する専門性も高く、各警察署との協力関係が強い交通安全活動推進委員協議会(3所)に、交通安全啓発活動を委託することで、交通事故防止に一定の成果をあげている。今後も、協議会と協働して事業を推進していく。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 地域の交通実態に即し、定期的に委託内容を検証し、効果のある活動内容にしていく。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	現行どおり、積極的に交通安全啓発活動を実施していく。また、特に高齢者と自転車の交通安全を重点とした取り組みを行う。

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		交通安全啓発用品の購入と配布					整理番号	583	枝番号				
担当部課名		都市整備部交通対策課		コード	221304	連絡先 電話番号	3553	昨年度 整理番号	601	昨年度 枝番号			
係名				交通対策係				上位施策名		No			
予算事業名				交通安全運動推進		コード	61700	交通安全の推進		6			
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		40 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業		政策番号	施策番号	事業コード		
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区民及び道路利用者の生命・財産				(1) 地方自治法第2条第8項 (2) 交通安全対策基本法第4条、第18条第1・2・3項 (3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		交通安全啓発活動を行う際、交通安全啓発用品を区民に配布し、交通安全意識の向上並びに、配布した反射材等の啓発用品を使用することにより交通事故防止につなげる。地域の人々に広く交通安全意識を広めるため、横断歩道用横断幕や表示幕を作製し、区内の道路に掲示する。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 区民及び道路利用者の交通安全意識を向上させることにより、交通事故を減少させる。						
	活動指標名(式)		(1) 交通安全啓発用品配布数 (2) 横断歩道用横断幕、表示幕作製数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 交通安全啓発用品配布数/杉並区民人口 (2) 横断歩道用横断幕、表示幕作製数/区内の道路延長(km)						
指標	区分		単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値 22年度	目標値に対する18年度の達成率%		
	活動指標(1)		個	45,150	25,500	45,690	45,000	64,880	50,000				
	活動指標(2)		流	76	84	18	30	62	30				
	成果指標(1)		%	9	5	9	9	12	10				
成果指標(2)		枚/100km	10	11	2	4	8	5					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	9,742	5,528	5,143	9,172	8,087	9,512	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)			
	(内) 投資的経費等		千円										
	(内) 委託費		千円										
	職員数(常勤 非常勤)		人	2.06	1.71	1.18	1.30	1.18	1.20	16年度の事業費はチビッコあんぜんヘルメット(単年度事業)の購入費を含む 18年度から自転車安全利用証の交付制度を開始した			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	18,746	15,493	10,691	11,778	10,691	10,872				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +		千円	28,488	21,021	15,834	20,950	18,778	20,384				
	単位あたりコスト(-)÷		円	631	824	347	466	289	408				
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円									
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0					
差引: 一般財源 -		千円	28,488	21,021	15,834	20,950	18,778	20,384					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
18年度の主な取組み			内 容				規模	単位	事業費(千円)				
			交通安全啓発用品等						5,175				
			交通安全教室						277				
			自転車安全利用証						2,635				
			その他 ()						0				

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 583 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 18年度達成率%	144.2	活動指標(2)の 18年度達成率%	206.7	18年度予算 執行率%	88.2
	横断歩道用横断幕や表示幕による視覚的な啓発とともに、交通安全啓発用品を購入し、区民及び道路利用者に配布することで、交通安全意識の向上を図った。また、幼児用自転車ヘルメットを廉価で提供するあっせん販売(財政負担なし)を行った。(平成18年度は10月と3月の2回実施)					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	横断歩道用横断幕や表示幕による視覚的な啓発だけでなく、交通安全啓発活動を行う際、啓発用品を区民及び道路利用者に配布することで、交通安全意識の向上を図った。また、幼児用自転車ヘルメットを廉価で提供するあっせん販売(財政負担なし)を行った。このあっせん販売は、今後も実施・継続していく予定である。なお、平成19年度は、小学校4年と6年を対象に自転車安全利用証の交付を実施し、児童及び保護者への自転車の安全運転の意識とルールの自覚及びマナー向上の醸成を図っていく。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	・区内の交通事故件数 平成8年...2,068件 平成12年...3,551件(ピーク) 平成18年...2,874件 ・杉並区民の人口 平成8年...501,316人 平成18年...519,229人 ・区内の道路延長(km) 平成8年...746km 平成18年...752km				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	最近は特に、交通ルールを守らない悪質な自転車利用者に対し、正しい交通ルール・マナーを周知・徹底させてほしいとの要望が多い。平成18年度から実施している自転車安全利用証の交付制度は、交付する児童だけでなく、家族ぐるみでの自転車の安全運転の意識を啓発する方策として期待できる。				
	今後の予測	交通事故の総件数は減少傾向にある中、高齢化の進展とともに、高齢者の交通事故は増加することが予想される。また、交通ルールを無視した悪質な自転車利用者による自転車が関係した交通事故も増加すると考えられる。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由:交通事故のない安全で快適なまちづくりを実現していくためには、区民及び道路利用者の交通安全意識の向上が不可欠である。啓発活動を行う際、啓発文書にあわせて啓発用品を配布することにより、啓発活動が受け入れられ易く、円滑に行うことができる。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:より効果的で実用的な啓発用品を選定するように努める。また、自転車安全利用証の交付制度の実施により、交付する児童だけでなく、家族ぐるみでの自転車の安全運転の意識を啓発していく。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:事業の性質上、受益者負担はない。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:啓発用品の一部を環境にやさしい素材に転換するため、単位当たりのコストが高くなる。また、自転車安全利用証は、各児童が交付されたという自覚を持てるよう、自動車免許証に近いイメージの素材・デザインでの作製が必要となる。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題 平成17年度から実施している幼児用自転車ヘルメットのあっせん販売については、販売店が流通経費・マージン等を負担することで、廉価による販売が実現し、販売実績を見ても十分な成果をあげている。今後も同様の方策で斡旋販売を実施・継続していく。また、自転車安全利用証の交付制度については、講習の指導等を各警察署だけでなく、PTAにも依頼し、家族ぐるみでの自転車の安全運転に対する意識の啓発を図っている。				
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ・交通安全啓発活動で配布する啓発用品は、より効果の見込める実用性の高い啓発用品を選定する。 ・歩行者、特に高齢者の交通事故防止対策として、視認性を高める反射材等の啓発資材を普及していく。 ・幼児用自転車ヘルメットのあっせん販売については、ヘルメット普及啓発を図るため、今後も実施・継続していく。 ・自転車安全利用証の交付制度については、効果を検証しながら、より多くの児童に交付されるよう実施・継続していく。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 啓発用品については、より効果的で実用性の高い啓発資材の選定が必要となるため、啓発資材についての情報収集と併せて、関係機関(警察、交通安全協議会)と協議する必要がある。 また、幼児用自転車ヘルメットのあっせん販売及び自転車安全利用証交付制度の実施効果についても、定期的に効果を検証し、必要に応じて手法を改善していく必要がある。	
	(1) 20年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 幼児用自転車ヘルメットのあっせん販売及び自転車安全利用証交付制度については、引き続き実施していく。交通事故のない安全で快適なまちづくりを実現していくために、地道かつ継続性のある交通安全啓発活動を実施していく。また、歩行者、特に高齢者の交通事故防止対策として、視認性を高める反射材等の啓発資材を普及していく。

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 584 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	88.9	18年度予算 執行率%	57.3
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		重点的に自転車安全利用を啓発する地区として、区内6箇所自転車交通安全利用モデル地区を定め、自転車安全利用キャンペーンの推進運動を実施し自転車利用マナー啓発品を配布した。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	悪質な自転車利用者に対して、警察が刑事処分の対象となる交通違反の摘発をするなど、社会的にも自転車の安全利用に対する関心が高まってきている。また、全体の交通事故件数が減少する中、自転車に関係した交通事故の割合が増えている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	夜間無灯火での自転車走行や二人乗りなど、交通ルールを守らない悪質な自転車利用者に対し、正しい交通ルール・マナーを周知徹底させてほしいとの要望が多い。					
	今後の予測	自転車利用者の安全運転の意識やマナーが向上しなければ、自転車に関係する交通事故は増加していくと考えられる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいのか 貢献度 大(理由)	理由:住民あるいは商店街など、地域に根ざした団体が主体となり行う交通安全啓発活動であることは、大いに意義がある。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^) 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:声掛け等により自転車安全利用についての啓発活動を行う事業であり、短期的には効果は現れにくいので、事業を継続することが重要と考える。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	地域住民あるいは商店街などが主体となり行う事業であり、受益者負担はない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:自転車の安全利用を啓発するためには、重点地区である旨の表示など視覚的な啓発も重要であり、定期的に各モデル地区の環境整備を行っていく必要がある。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題 各モデル地区の住民あるいは商店街関係者などの地域住民団体が主体となって交通安全啓発活動を行っており、継続的な活動として一定の成果をあげている。啓発活動の内容については、定期的に効果測定を行い、より効果的な方法を模索していく必要がある。					
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 実施計画に基づき、既存モデル地区の事業継続と内容充実を図っていくとともに、防災自主団体や町会・自治会に対し、「声掛け」を依頼することで全区的な広がりを図っていく。 また、啓発活動の内容について、定期的に効果測定を行い、より効果的な方法を模索していく。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 実施計画に基づき、既存モデル地区の事業継続と内容充実を図っていく。 また、新たなモデル地区を策定するために、地域の団体に協力依頼を行う。	

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		交通安全施設維持補修						整理番号	595	枝番号		
担当部課名		都市整備部杉並土木事務所		コード	222709	連絡先 電話番号	4634	昨年度 整理番号	613	昨年度 枝番号		
係名				交通安全施設係				上位施策名		No		
予算事業名				交通安全施設維持補修		コード	61900	交通安全の推進		6		
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		36 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 _____ 政策番号 _____ 施策番号 _____ 事業コード _____ <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等							
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 区が管理する道路の利用者		(1) 地方自治法第2条第3項 (2) 道路法第42条 (3)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		破損した交通安全施設の補修工事及び、道路反射鏡・ガードレール・配電型交差点鉄の清掃を行う。また、配電型交差点鉄の電気料金を支払う。									
	活動指標名(式)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 稼働率 = (管理数*365 - 修理件数*修理件数) / (管理数*365) / 100 (2)									
指標	区分		単位	16年度 実績	17年度		18年度		19年度 計画	目標値 22年度	目標値対 する18年度 の達成率%	
	活動指標(1)		件	529	550	512	500	523	500			
	活動指標(2)											
	成果指標(1)		%	100	100	100	100	100	100			
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	46,010	46,678	46,429	38,194	37,796	38,192	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等		千円									
	(内) 委託費		千円	44,280	44,928	44,792	36,364	36,070	36,349			
	職員数(常勤 非常勤)		人	2.43	2.36	2.40	1.48	1.50	1.48	平成18年度修理対象 管理数 ・反射鏡6,315面 ・防護柵12,097基 (3m/基換算) ・標識1,477枚 ()内は箇所あたり修理 日数 ・反射鏡382件(3.5 日) ・防護柵118件(18 日) ・標識23件(9.9日)		
	人 件 費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	22,113	21,382	21,744	13,409	13,590	13,409			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	68,123	68,060	68,173	51,603	51,386	51,601			
	単位あたりコスト(-)÷		円	128,777	123,745	133,150	103,206	98,252	103,202			
	財 源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	68,123	68,060	68,173	51,603	51,386	51,601				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
18年度の主な取組み			内 容					規模	単位	事業費(千円)		
			交通安全施設補修(道路反射鏡、防護柵、標識の修理など)(委託等)							35,447		
			交通安全施設清掃委託(発光式道路鉄の清掃)(委託等)							623		
			交通安全施設維持管理(電気料金、材料費など)							1,726		
			その他 ()							0		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 595 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 18年度達成率%	104.6	活動指標(2)の 18年度達成率%	18年度予算 執行率%	99.0
	・配電式道路鏡については、実施計画に基づき自発光式道路鏡に改良している。その利用に係る電気料金は毎年減じている。・道路反射鏡や警戒標識など施設機能を妨げになる沿道樹木の剪定や交通事故などによる施設破損の応急的な安全対策を職員自ら行い委託経費の削減に努めた。				
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	・交通事故などにより破損したガラス製鏡面はステンレス製に交換している。 ・道路警戒標識は、事故や老朽化した施設から夜間でもライトに反応する広角プリズム板に取替え道路利用者へ案内している。				

事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	主な交通安全施設の管理数値(各年4月1日) ・防護柵 H57 40,489m H15 36,680m H18 36,293m ・道路反射鏡 3,386本 4,790本 4,852本 ・道路標識 1,632本 1,467本 1,444本			
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	・道路反射鏡の向き直し、防護柵の補修、建築工事などに伴う交通安全施設の自費工事移設要望が多くなっている。			
	今後の予測	・交通安全施設の整備設置と改良も進んでおり、今後も大幅な交通安全施設の増加はない。維持補修工事による補修件数についても、現状維持から微増で推移するものと予測する。			

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 道路交通の安全を確保するためには、交通安全施設を適正に管理し、その機能を保持することは重要である。		
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 緊急時に職員が交通事故などによる施設破損の安全対策を第一に対応する事で危険回避や経費削減を行っている。		
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 道路は無料で一般に供されているのが原則であるので、受益者負担は適切ではない。		
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 現行予算は市場単価と見積単価の標準工事費のため、これ以上の削減は出来ない。		

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題 ・専門的な業務を行う工事技術者や工事資機材・車両を常時確保している交通安全施設業界への協働形態を継続する。	
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)		

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ・接触事故等による道路反射鏡鏡面の交換頻度を削減するために、ガラス製鏡面に比べ接触に強く、耐久性の高いステンレス製鏡面に今後も改めていく。また、道路警戒標識板を広角プリズム板に随時交換し、夜間などの視認性を向上させる。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 ・道路反射鏡鏡面のステンレス化と道路警戒標識板の広角プリズム利用に伴い経費の増加が見込まれる。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由		・市場単価と見積単価を整理し、経費の改正を行いながら設計工事費を算出している。予算の増減は見込まない。

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		道路反射鏡新設・改良						整理番号	596	枝番号				
担当部課名		都市整備部杉並土木事務所		コード	222709	連絡先 電話番号	4634	昨年度 整理番号	614	昨年度 枝番号				
係名		交通安全施設係						上位施策名	No					
予算事業名		交通安全施設整備		コード	62100	交通安全の推進		6						
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		43 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	(1)	施策番号	事業コード	11
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		区が管理する道路の利用者		根拠法令等		(1) 地方自治法第2条第3項 (2) 道路法第42条 (3)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		見通しの悪い交差点や屈曲部等に道路反射鏡を新設し、道路の視距を改善する。また、老朽化した施設の改良を行う。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		区が管理する道路における交通安全施設の機能を適正に保持することにより、道路利用者の安全を確保する。							
	活動指標名(式)		(1) 新設・改良数 (2) 管理数(鏡面数)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) 整備対応率 = 管理面数/交差点面数*100 (2)							
指標	区分		単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値 22年度	目標値に対する18年度の達成率%			
	活動指標(1)		本	96	100	101	100	111	100					
	活動指標(2)		面	6,242	6,272	6,315	6,345	6,395	6,425					
	成果指標(1)		%	35	35	36	36	36	36					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	14,890	17,460	15,678	17,460	17,422	17,460	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)				
	(内) 投資的経費等		千円											
	(内) 委託費		千円	14,890	17,460	15,678	17,460	17,422	17,460					
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.78	0.88	0.81	0.68	0.69	0.67	平成18年度実績内訳 新設65本 改良46本 交差点面数17,728 面				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	7,098	7,973	7,339	6,161	6,251	6,070					
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0					
	総事業費 + +		千円	21,988	25,433	23,017	23,621	23,673	23,530					
	単位あたりコスト(-)÷		円	229,042	254,330	227,891	236,210	213,270	235,300					
	財源	受益者負担分		千円										
		国・都等からの支出金		千円										
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0						
差引: 一般財源 -		千円	21,988	25,433	23,017	23,621	23,673	23,530						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
18年度の主な取組み			内 容					規模	単位	事業費(千円)				
			道路反射鏡新設・改良(委託等)					111	本	17,422				
			その他 ()							0				

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 596 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	111.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	100.8	18年度予算 執行率%	99.8
		・新設の要望や必要な箇所、改修必要の箇所については、計画通り事業を行った。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		・道路反射鏡の新設、改修に際し、車両等からの接触などに破損しにくい耐久性の高いステンレス製鏡面にガラス鏡面から改めている。事故損傷などによる鏡面の飛び散りによる危険性や鏡面の交換頻度を少なくする。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	裏通りの交通事故発生件数 S56 = 413件 H3 = 658件 H15 = 1131件 H18 = 979件					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	・自転車対歩行者についての設置要望がある。・反射鏡設置箇所前の地先住民は、将来家屋改築時の施設移設費用の負担や景観の悪化などを理由に設置の理解が得られない事がある。・道路利用者が反射鏡に頼りすぎて、一時停止等の安全確認を怠る事がある。					
	今後の予測	・施設の老朽化による必要に応じた改修が必要になる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:見通しの悪い交差点や屈曲部地点の視距不足を解消する手段として、交通事故防止効果は大きい。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:耐久性に優れた反射鏡材料(ステンレス)を使用する事で、事故損傷等による鏡面交換の頻度を少なくする。補修経費と廃棄物による環境への負担を軽減する。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:道路は無料で一般に供されるのが原則である。受益者負担は適切ではない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:現行予算は市場単価と見積単価の標準工事費のため、これ以上の削減は出来ない。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題 ・専門的な業務を行う工事技術者や工事資機材・車両を常時確保している交通安全施設業界への協働形態を継続する。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ・道路反射鏡の新設、改修に際し、接触等に破損しにくい耐久性の高いステンレス製鏡面にガラス製鏡面から改める。引き続き事故損傷などによるガラス鏡面の飛び散りによる危険性や交換頻度を少なくする事によって補修経費の削減を図っていく。 ・新設、改修に際しては、設置箇所の状況をよく調査して、できるだけ単独柱を減らすため、電柱事業者の協力を得て共架設置を行っていく。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 ・道路反射鏡鏡面のステンレス製使用に伴い初期経費は生じるが、鏡面交換の頻度が減少させることで長期的な経費の削減を図る。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 ・市場単価と見積単価を整理し、経費の改正を行いながら設計工事費を算出している。予算の増を見込む。	

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		自発光式交差点鉦新設・改良					整理番号	597	枝番号					
担当部課名		都市整備部杉並土木事務所		コード	222709	連絡先 電話番号	4634	昨年度 整理番号	615	昨年度 枝番号				
係名 交通安全施設係					上位施策名			No						
予算事業名 交通安全施設整備					コード	62100	交通安全の推進			6				
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		46 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	(1)	施策番号		事業コード	11
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業							
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		区が管理する道路の利用者		根拠法令等		(1) 地方自治法第2条第3項 (2) 道路法第2条、第85号 (3) 道路法施行令第34条の3					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		夜間において交差点の所在を明示するために、点滅式の交差点鉦を新設する。また、老朽化した施設を改良する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		夜間の交差点の所在を明確にすることで、出会い頭の事故等を防止し、道路利用者の安全を確保する。							
	活動指標名(式)		(1) 新設・改良箇所数 (2) 管理数値(設置交差点箇所数)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) 整備率 = 設置交差点箇所数 / 交差点箇所数 * 100 (2)							
指標	区分		単位	16年度 実績	17年度		18年度		19年度 計画	目標値 22年度	目標値に 対する18年度 の達成率%			
	活動指標(1)		箇所	30	16	21	16	19	16					
	活動指標(2)		箇所	422	432	435	445	444	454					
	成果指標(1)		%	6.0	6.1	6.1	6.3	6.3	6.4					
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費		千円	6,174	2,865	3,021	2,996	2,981	3,086	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)				
	(内) 投資的経費等		千円											
	(内) 委託費		千円	6,174	2,865	3,021	2,996	2,981	3,086					
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.32	0.15	0.16	0.12	0.12	0.12	平成18年度実績 新設10基 改良9基 新設交差点数 = 9箇所 交差点箇所数7,091 箇所				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	2,912	1,359	1,450	1,087	1,087	1,087					
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0					
	総事業費 + +		千円	9,086	4,224	4,471	4,083	4,068	4,173					
	単位あたりコスト(-) ÷		円	302,867	264,000	212,905	255,188	214,105	260,813					
	財源	受益者負担分		千円										
		国・都等からの支出金		千円										
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0						
差引: 一般財源 -		千円	9,086	4,224	4,471	4,083	4,068	4,173						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
18年度の主な取組み			内 容					規模	単位	事業費(千円)				
			自発光式交差点鉦新設・改良(委託等)					19	箇所	2,981				
			その他 ()							0				

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 597 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	118.8	活動指標(2)の 18年度達成率%	99.8	18年度予算 執行率%	99.5
		・計画通り事業を行った。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		・夜間に事故が起きた交差点や予測される交差点について、中央設置型や停止線用の自発光式道路標識の設置を行った。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	裏通りの交通事故発生件数 S56 = 413件 H3 = 658件 H15 = 1131件 H18 = 979件					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	・夜間交差点の交通事故防止や交差点を分かりやすくするために、区民や警察から設置要望が多い。 ・設置位置によっては、車両のタイヤがあたり振動が起るとの意見がある。					
	今後の予測	・配電式道路標識を自発光式道路標識への改良と新設を行っていく。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:夜間の交差点に対して、車両や歩行者に交差点の周知明示ができ、注意・啓発など交通事故対策に効果ある。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:道路工事や大規模な占用工事が予定されている箇所では、工事の調整を事前に行い、協力して施工することにより、道路の復旧費用などの削減が見込まれる。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:道路は無料で一般に供されるのが原則である。受益者負担は適切ではない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:現行予算は市場単価と見積単価の標準工事費のため、これ以上の削減は出来ない。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題 ・専門的な業務を行う工事技術者や工事資機材・車両を、常時確保している交通安全施設業界への協働形態を継続する。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ・引き続き夜間に事故が頻発する交差点や発生が予測される交差点について設置していく。また、交差点中央付近が明るく中心に設置できない場合は、状況に応じて停止線型の自発光式道路標識を設置する。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減な <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 ・市場単価と見積単価を整理し、経費の改正を行いながら設計工事費を算出している。予算の増を見込む。		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		地点名標識板新設・改良				整理番号	598	枝番号			
担当部課名		都市整備部杉並土木事務所		コード	222709	連絡先 電話番号	4634	昨年度 整理番号	616	昨年度 枝番号	
係名 交通安全施設係					上位施策名			No			
予算事業名 交通安全施設整備					交通安全の推進			6			
事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成					50 年度			<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 政策番号 (1) 施策番号 事業コード 11 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理					根拠法令等						
対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 区が管理する道路の利用者					(1) 地方自治法第2条第3項 (2) 道路法第2条、第45条、第85条 (3) 道路標識、区画線及び道路標示に関する命令						
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 信号柱が設置された場所に地点名の入った標識の設置や老朽化した標識の改修を行う。					事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 道路利用者に地点名や施設名等必要な情報を表示し、道路交通の安全性及び円滑性を確保する。						
活動指標名(式) (1) 新設・改良数 (2) 管理数値					成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 整備率 = 設置交差点箇所数 / 区道路上信号機数 * 100 (2)						
区分		単位	16年度 実績	17年度		18年度		19年度 計画	目標値 22年度	目標値に対 する18年度 の達成率%	
				計画	実績	計画	実績				
指標	活動指標(1)		枚	7	10	8	10	10	10		
	活動指標(2)		枚	442	446	442	446	442	446		
	成果指標(1)		%	63.6	63.6	63.6	64.6	63.6	64.6		
	成果指標(2)										
総事業費・ コスト把握	事業費		千円	943	860	712	1,269	1,294	1,300	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など) 平成18年度実績内訳 改修10枚 平成19年4月1日 設置交差点箇所数 133箇所 区道路上信号機数 209箇所	
	(内) 投資的経費等		千円								
	(内) 委託費		千円	943	860	712	1,269	1,294	1,300		
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.05		0.04		0.05			0.05
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	455	362	362	453	453		453
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0		0
	総事業費 + +		千円	1,398	1,222	1,074	1,722	1,747	1,753		
	単位あたりコスト(-)÷		円	199,714	122,200	134,250	172,200	174,700	175,300		
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0			
差引: 一般財源 -		千円	1,398	1,222	1,074	1,722	1,747	1,753			
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
18年度の主な取組み			内 容					規模	単位	事業費(千円)	
			地点名標識板新設・改良(委託等)					10	枚	1,294	
			その他 ()							0	

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 598 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	99.1	18年度予算 執行率%	102.0
		・ほぼ計画通り事業を行った。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		・古い地点名標識板の文字やアルファベット標示を新しくし、アルミ材質に改良を行なった。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	・取付必要箇所については、整備を終了している。現在は、既設地点名標識板の改良を行っている					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	・地点名標示の呼び方が都と区で違っているとの意見があった。 ・新しい信号機が設置されると警察から取付要望がある。					
	今後の予測	・今後は古い地点名標識板の改良、信号灯器がLED製品になった箇所や新設された箇所を整備する。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:道路利用者に必要な位置情報を与えることにより交通の円滑化に貢献している。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容:道路利用者へ地域の名称を周知する施設であり、取付箇所が信号機上であることから、これ以上の成果は望めない。 理由または具体的内容:					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:道路は無料で一般の利用者に供されるのが原則である。受益者負担は適切ではない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:現行予算は市場単価と見積単価の標準工事費のため、これ以上の削減は出来ない。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題 ・専門的な業務を行う工事技術者や工事資機材・車両を常時確保している交通安全施設業界への協働形態を継続する。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ・既設の地点名標識板を順次新しく改良していく。 ・新たに設置された信号機には、必要に応じて整備していく。
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減な <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 ・市場単価と見積単価を整理し、経費の改正を行いながら設計工事費を算出している。予算の増を見込む。

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名 白線整備			整理番号 599	枝番号							
担当部課名 都市整備部杉並土木事務所		コード 222709	連絡先 電話番号 4634	昨年度 整理番号 617	昨年度 枝番号						
係名 交通安全施設係			上位施策名 No								
予算事業名 交通安全施設整備			交通安全の推進 6								
事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 36 年度			<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 政策番号 (1) 施策番号 事業コード 11 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業								
事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理 対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 区が管理する道路の利用者			根拠法令等 (1) 地方自治法第2条第3項 (2) 道路法第2条・第45条・第85条 (3) 道路標識・区画線及び道路標示に関する命令								
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 道路の舗装上にペイントを用いて通行帯明示のための白線を引く。また、磨耗した白線を更新する。			事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 車両及び歩行者の通行区分を明確にして、道路利用者に対して案内及び警戒をうながすことにより、道路交通の円滑と安全を図る。								
活動指標名(式) (1) 白線施工延長 (2) 管理数値(白線設置延長)			成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 白線整備率 = 白線設置延長 / 道路延長 * 100 (2)								
区分		単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値 22年度	目標値に対する18年度の達成率%	
指標	活動指標(1)		m	61,459	65,000	66,201	65,000	65,044	65,000		
	活動指標(2)		m	517,780	517,780	517,780	517,780	519,726	519,726		
	成果指標(1)		%	76	76	76	76	76	76		
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	30,543	30,550	31,039	29,250	29,335	26,650	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など) 平成19年4月1日 道路延長 684,762m	
	(内) 投資的経費等		千円								
	(内) 委託費		千円	30,543	30,550	31,039	29,250	29,335	26,650		
	職員数(常勤 非常勤)		人	1.61	1.53	1.59	1.12	1.15	1.02		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	14,651	13,862	14,405	10,147	10,419		9,241
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0		0
	総事業費 + +		千円	45,194	44,412	45,444	39,397	39,754	35,891		
	単位あたりコスト(-) ÷		円	735	683	686	606	611	552		
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0			
差引: 一般財源 -		千円	45,194	44,412	45,444	39,397	39,754	35,891			
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
18年度の主な取組み			内 容				規模	単位	事業費(千円)		
			白線整備(委託等)				65,044	m	29,335		
			その他 ()						0		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 599 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	100.1	活動指標(2)の 18年度達成率%	100.4	18年度予算 執行率%	100.3
		・計画通り事業を行った。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		・交通管理者(警察)と協議を行い、外側線の新設や磨耗箇所の白線引き直しを行った。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	裏通りの交通事故発生件数 S56 = 413件 H3 = 658件 H15 = 1131件 H18 = 979件					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	・白線の磨耗箇所の引き直し要望がある。 ・車道内側に設置した破線に、車両のタイヤが乗って騒音が発生するとの意見がある。					
	今後の予測	・実施計画どおり整備を行なう。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 車両及び歩行者の通行区分を明確にすることで、接触事故を防止し安全な通行を確保する効果が大きい。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 緊急に必要な白線要望を除き、要望を取りまとめて工事を施工することで、事業費が抑えられ白線延長が延びる。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 道路は無料で一般の利用者に供されるのが原則である。受益者負担は適切ではない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 現行予算は市場単価と見積単価の標準工事費のため、これ以上の削減は出来ない。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題 ・専門的な業務を行う工事技術者や工事資機材・車両を常時確保している交通安全施設業界への協働形態を継続する。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ・白線の新設や車道と路側帯の幅員等の見直しは交通管理者(警察)と協議しながら進めていく。 ・白線による視覚狭さくや破線の設置は引き続き行っていく。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 ・市場単価と見積単価を整理し、経費の改正を行いながら設計工事費を算出している。予算の増を見込む。		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		点字ブロック新設・改良					整理番号	600	枝番号					
担当部課名		都市整備部杉並土木事務所			コード	222709	連絡先 電話番号	4634	昨年度 整理番号	618	昨年度 枝番号			
係名		交通安全施設係					上位施策名		No					
予算事業名		交通安全施設整備			コード	62100	交通安全の推進		6					
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		60 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	(1)	施策番号	事業コード	11
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		区が管理する道路を利用する視覚障害者		根拠法令等 (1) 地方自治法第2条第3項 (2) 東京都福祉のまちづくり条例 (3)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		視覚障害者が道路を利用する際の補助となる誘導標示やブロックを道路上に設置する。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 視覚障害者を安全かつスムーズに目的地まで誘導する。							
	活動指標名(式)		(1) 新設・改良枚数 (2) 管理数値(点字ブロック設置枚数)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 整備対応率 = 点字ブロック管理延長/道路延長*100 (2)							
指標	区分		単位	16年度 実績	17年度		18年度		19年度 計画	目標値 22年度	目標値に 対する18年度 の達成率%			
	活動指標(1)		枚	766	800	709	600	1,077	600					
	活動指標(2)		枚	16,243	16,643	17,658	17,958	18,826	19,126					
	成果指標(1)		%	0.7	0.7	0.8	0.8	0.8	0.8					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	3,355	5,920	5,959	4,440	5,247	4,440	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など) 平成19年4月1日道路 延長 684,762m (点字ブロック延長 = 管理数値 * 0.3)				
	(内) 投資的経費等		千円											
	(内) 委託費		千円	3,355	5,920	5,959	4,440	5,247	4,440					
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.18	0.30	0.31	0.17	0.21	0.17					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	1,638	2,718	2,809	1,540	1,903	1,540				
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +		千円	4,993	8,638	8,768	5,980	7,150	5,980					
	単位あたりコスト(-)÷		円	6,518	10,798	12,367	9,967	6,639	9,967					
	財源	受益者負担分		千円										
		国・都等からの支出金		千円										
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0						
差引:一般財源 -		千円	4,993	8,638	8,768	5,980	7,150	5,980						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
18年度の主な取組み		内 容						規模	単位	事業費(千円)				
		点字ブロック新設・改良(委託等)						1,077	枚	5,247				
		その他 ()								0				

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 600 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	179.5	活動指標(2)の 18年度達成率%	104.8	18年度予算 執行率%	118.2
		・計画通り事業を行った。一つの箇所において新設したため、点字ブロック施工延長が伸び無事完了した。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		・歩車道分離がされていない一般道路において、車両が点字ブロックに乗る可能性がある箇所は、ブロックのがたつきををなくす為、シート貼り付け方式を採用した。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	視覚障害者数(身体障害者手帳交付数) S60.4=826人 H14.4=953人 H17.3=996人					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	・視覚障害者やその団体、商店街などから駅周辺と公共交通機関までの経路上に点字ブロックの設置要望がある。 ・歩行の不自由な方が、点字ブロックにつまずくという意見がある。					
	今後の予測	・視覚障害者の社会進出を安全に進める手段の一つとして、今後も整備を行う。また、道路工事時も含め、老朽化した点字ブロックのJIS規格への改良を行う。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)	理由: 誰もが安心して通行できる道路にするために、施設の設置は貢献度が高い。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容:					
	成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 点字ブロックを設置するにあたり、視覚障害者やその団体からの意見を伺うことで更に成果向上ができる。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 道路は無料で一般に供されるのが原則である。受益者負担は適切ではない。					
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 現行予算は市場単価と見積単価の標準工事費のため、これ以上の削減は出来ない。						
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題 ・専門的な業務を行う工事技術者や工事資機材・車両を常時確保している交通安全施設業界への協働形態を継続する。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ・点字ブロックの新設や改良時には、視覚障害者の方々からの意見を伺い、より使い易い施設になるよう努める。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 ・市場単価と見積単価を整理し、経費の改正を行いながら設計工事費を算出している。予算の増減は見込まない。		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		すべり止め舗装					整理番号	601	枝番号					
担当部課名		都市整備部杉並土木事務所		コード	222709	連絡先 電話番号	4634	昨年度 整理番号	619	昨年度 枝番号				
係名		交通安全施設係			上位施策名			No						
予算事業名		交通安全施設整備		コード	62100	交通安全の推進			6					
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ●平成		1年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	(1)	施策番号		事業コード	11
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業							
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 区が管理する道路の利用者				根拠法令等 (1) 地方自治法第2条第3項 (2) 道路法第2条・第45条・第85条 (3)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		道路のカーブ、交差点等の舗装面上にカラーすべり止め舗装を行う。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 道路のカーブ及び坂道のスリップ防止。また、交差点等における色彩の変化による注意喚起により交通事故を抑止する。							
	活動指標名(式)		(1) 新設・改良面積 (2) 管理数値(施工累計面積)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 整備対応率 = 施工累計面積 / 道路面積 * 100 (2)							
指標	区分		単位	16年度 実績	17年度 計画	17年度 実績	18年度 計画	18年度 実績	19年度 計画	目標値 22年度	目標値に 対する18年度 の達成率%			
	活動指標(1)		㎡	1,189	1,400	1,332	1,400	1,186	1,400					
	活動指標(2)		㎡	28,134	29,534	31,225	32,625	34,243	35,634					
	成果指標(1)		%	0.8	0.9	0.9	1.0	1.0	1.1					
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費		千円	13,468	14,840	15,970	14,840	13,933	14,560	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など) 平成19年4月1日 区道路面積 3,364,830㎡				
	(内) 投資的経費等		千円											
	(内) 委託費		千円	13,468	14,840	15,970	14,840	13,933	14,560					
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.71	0.75	0.82	0.58	0.55	0.56					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	6,461	6,795	7,429	5,255	4,983	5,074				
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++		千円	19,929	21,635	23,399	20,095	18,916	19,634					
	単位あたりコスト(-)÷		円	16,761	15,454	17,567	14,354	15,949	14,024					
	財源	受益者負担分		千円										
		国・都等からの支出金		千円										
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0						
差引: 一般財源 -		千円	19,929	21,635	23,399	20,095	18,916	19,634						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
18年度の主な取組み		内 容						規模	単位	事業費(千円)				
		すべり止め舗装(委託等)						1,186	㎡	13,933				
		その他 ()								0				

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 601 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	84.7	活動指標(2)の 18年度達成率%	105.0	18年度予算 執行率%	93.9
		・計画通り事業を行った。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		・すべり止め舗装の骨材に一般材料の他に、ガラスビン回収により発生したガラスカレット入り骨材を使用した。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	裏通りの交通事故発生件数 S56 = 413件 H3 = 658件 H15 = 1131件 H18 = 979件					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)						
	今後の予測	・磨耗したすべり止め舗装部分の改修や危険な交差点付近の明示方法として要望が増える。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 交差点などの路面に色彩による変化をつけ、道路利用者の注意を喚起することで交通事故防止に効果がある。また、他の施設工事を併せて実施することにより、効果は増加する。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^)	理由または具体的内容:					
	成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 一回一回の施工指示毎の工事では、その都度施工に伴いコストが発生する。しかし、数箇所まとめて指示、施工することで事業費の増加が抑えられる。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 道路は無料で一般に供されるのが原則である。受益者負担は適切ではない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 現行予算は市場単価と見積単価の標準工事費のため、これ以上の削減は出来ない。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題 ・専門的な業務を行う工事技術者や工事資機材・車両を常時確保している交通安全施設業界への協働形態を継続する。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ・資源再利用や環境への配慮から、すべり止め舗装の骨材に、ガラスビン回収により発生したガラスカレット入り骨材を適時利用していく。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 ・市場単価と見積単価を整理し、経費の改正を行いながら設計工事費を算出している。予算の増を見込む。	

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		防護柵の改良						整理番号	602		枝番号						
担当部課名		都市整備部杉並土木事務所		コード	222709		連絡先 電話番号	4634		昨年度 整理番号	620		昨年度 枝番号				
係名		交通安全施設係						上位施策名		No							
予算事業名		交通安全施設整備		コード	62100		交通安全の推進		6								
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ●平成		6年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	(1)		施策番号	事業コード 11				
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等								
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		区が管理する道路の利用者		(1) 地方自治法第2条第3項		(2) 道路法第2条・第85条								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		老朽化した既存の歩車道分離防護柵(車道用ガードレールを歩道用として代用)を交通状況や景観に配慮した歩道用防護柵に更新改良する。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		車両が歩道等へ逸脱するのを防ぐとともに、歩行者がみだりに車道横断するのを抑制することにより、道路利用者の安全を確保する。								
	活動指標名(式)		(1) 各年度毎の改良延長		(2) 平成6年度以降の改良実績		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) 改良率 = 完了延長/防護柵延長 * 100								
						(2)											
指標	活動指標(1)		単位	16年度実績		17年度		18年度		19年度計画		目標値	目標値に対する18年度の達成率%				
					計画	実績		計画	実績								
	活動指標(2)		603		700	568		700	591		700						
	成果指標(1)		13,126		13,826	13,694		14,394	14,285		14,985						
成果指標(2)		36		38	38		40	39		41							
総事業費・コスト把握	事業費		千円	15,110		17,371		17,366		18,620		18,568		19,950		特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など) 平成19年4月1日 防護柵管理延長 36,174m	
	(内) 投資的経費等																
	(内) 委託費		千円	15,110		17,371		17,366		18,620		18,568		19,950			
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.80		0.88		0.89		0.71		0.77		0.76			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	7,280		7,973		8,063		6,433		6,976		6,886		
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0		0		0		
	総事業費 ++		千円	22,390		25,344		25,429		25,053		25,544		26,836			
	単位あたりコスト(-)÷		円	37,131		36,206		44,769		35,790		43,222		38,337			
	財源	受益者負担分		千円													
		国・都等からの支出金		千円													
特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0		0				
差引: 一般財源 -		千円	22,390		25,344		25,429		25,053		25,544		26,836				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
18年度の主な取組み		内 容						規模	単位	事業費(千円)							
		防護柵の改良(委託等)						591	m	18,568							
		その他 ()								0							

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 602 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	84.4	活動指標(2)の 18年度達成率%	99.2	18年度予算 執行率%	99.7
		・ほぼ計画通り事業を行った。材料の価格が上昇した事と、交通量のある道路を工事したため、安全費などの経費がかさんだため延長が伸びなかった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		・防護柵の構造を統一して、整備を行っている。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	裏通りの交通事故発生件数 S56 = 413件 H3 = 658件 H15 = 1131件 H18 = 979件					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	・車両の抜け道の歩行者安全、違法駐車防止などの対策として要望がある。しかし、道路幅員が狭く、緊急車両等の通行を考えた場合、大半が設置出来ない路線である。また、設置に対しては、宅地の出入口など住民生活に与える影響が大きいため、道路全体で設置する場合沿道地域全体の同意が得られにくい。					
	今後の予測	・施設の老朽状況を考慮しながら、路線毎の改良整備を進める。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいのか 貢献度 大(理由)	理由: 歩行者や自転車など道路利用者が安心して通行できる道路環境を整備する上で効果は大きい。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 防護柵の老朽化路線で道路工事が予定されている場合、一括で設計発注することで事業費の削減が見込まれる。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 道路は無料で一般に供されるのが原則である。受益者負担は適切ではない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 現行予算は市場単価と見積単価の標準工事費のため、これ以上の削減は出来ない。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題 ・専門的な業務を行う工事技術者や工事資機材・車両を常時確保している交通安全施設業界への協働形態を継続する。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ・防護柵の種類と構造を整理統一して改良していく。また、道路工事などと調整して改良することにより、全体の事業費軽減と工事期間の短縮に努める。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 ・市場単価と見積単価を整理し、経費の改正を行いながら設計工事費を算出している。予算の増減は見込まない。		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		立看板等			整理番号	603		枝番号					
担当部課名		都市整備部杉並土木事務所		コード	222709		連絡先 電話番号	4634					
係名		交通安全施設係			上位施策名				No				
予算事業名		交通安全施設整備		コード	62100		交通安全の推進	6					
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		36 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野						
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 行革計画事業			<input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		根拠法令等								
	区が管理する道路の利用者		(1) 地方自治法第2条第3項										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		(2)										
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		(3)											
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		道路上の危険な箇所等に、交通標識や路面標示の補完として、道路利用者に注意を喚起するための簡易な立看板を設置する。											
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 道路利用者に対し、道路形状や沿道状況の予告及び、交通マナー遵守を喚起することにより、道路交通の安全を確保する。											
活動指標名(式)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標											
(1) 立看板設置数		(1) 看板設置度 = 道路延長/看板管理数											
(2) 管理数値(設置累計枚数)		(2)											
区分	単位	16年度実績		17年度		18年度		19年度計画	目標値 22年度	目標値に対する18年度の達成率%			
		計画	実績	計画	実績	計画	実績						
指標	活動指標(1)	枚	159	200	184	200	186	200					
	活動指標(2)	枚	2,268	2,468	2,415	2,615	2,622	2,822					
	成果指標(1)	m/枚	301	277	283	262	261	243					
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費	千円	1,689	2,186	2,130	2,266	2,217	2,266	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)				
	(内) 投資的経費等	千円											
	(内) 委託費	千円	1,689	2,186	2,130	2,266	2,217	2,266					
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.09		0.11		0.09		0.09	平成19年4月1日 道路延長 684,762m			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	819	997	997	815	815	815				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +	千円	2,508	3,183	3,127	3,081	3,032	3,081					
	単位あたりコスト(-)÷	円	15,774	15,915	16,995	15,405	16,301	15,405					
	財源	受益者負担分	千円										
		国・都等からの支出金	千円										
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0					
差引:一般財源 -		千円	2,508	3,183	3,127	3,081	3,032	3,081					
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
18年度の主な取組み	内 容		規 模		単位	事業費(千円)							
	立看板等(委託等)		186		枚	2,217							
	その他 ()					0							

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 603 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	93.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	100.3	18年度予算 執行率%	97.8
		・ほぼ計画どおり事業を行った。交通量があり、立看板では接触などが考えられる箇所においては、視認性の良い薄いビニールシートの設置を行った。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		・交通違反常習箇所や自転車に対する一時停止や走行中の注意啓発のために設置を行った。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	裏通りの交通事故発生件数 S56 = 413件 H3 = 658件 H15 = 1131件 H18 = 979件					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	・設置する事により、見栄え景観が悪くなるという意見がある。					
	今後の予測	・破損したり、老朽化した看板の交換と交通安全施設整備事業と併せて設置することで効果が上がるため今後も進める。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいのか 貢献度 大(理由)	理由: 道路利用者に直接注意を呼びかける手段として、他の交通安全手段と併せて実施することによる効果は大きい。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 立看板の形状、設置場所や要望内容をよく精査して効率よく設置していく。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 道路は無料で一般に供されるのが原則である。受益者負担は適切ではない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 視認性を高めるため経費が増えている。これ以上の削減は出来ない。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題 現行の形態が望ましいと考える。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ・区が管理する生活道路上における、交通事故、通学路への車両の進入、交通違反常習箇所などへ、注意・啓発を促すため、区民や警察から取付要望が高くなっている。今後も、看板は視認性のいい材料を使用し、設置場所に合った形状に工夫をしながら取付を行っていく。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	・市場単価と見積単価を整理し、経費の改正を行いながら設計工事費を算出している。予算の増減は見込まない。

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		街路灯維持補修						整理番号	604	枝番号		
担当部課名		都市整備部杉並土木事務所		コード	222709	連絡先 電話番号	4634	昨年度 整理番号	622	昨年度 枝番号		
係名				交通安全施設係				上位施策名		No		
予算事業名				街路灯維持補修		コード	60700	交通安全の推進		6		
事務事業の概要	事業開始年度			<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		35 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		政策番号	事業コード	
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 すべての区道利用者		(1) 地方自治法第2条第3項第8号 (2) 杉並区街路灯設置基準 (3) 道路法第42条						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			既設街路灯のポール等塗装・ランプ取替・故障修理・破損修理及び電気料等の支払を行う。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 街路灯の適正な維持管理を行い、安全性を維持する。						
	活動指標名(式)			(1) 街路灯管理数 (2) 街路灯修理件数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 街路灯稼働率 = ((街路灯管理灯数 × 365日) - 街路灯修理件数) / 街路灯管理数 × 365日 (2) 街路灯修理率 = 街路灯修理件数 / 街路灯管理灯数						
指標	区分		単位	16年度 実績	17年度		18年度		19年度 計画	目標値 22年度	目標値に 対する18年度 の達成率%	
	活動指標(1)		灯	25,075	25,103	25,099	25,131	25,105	25,133	25,211	99.6	
	活動指標(2)		件	1,381	1,470	2,729	1,470	4,061	3,200	1,500	270.7	
	成果指標(1)		%	99.98	99.98	99.97	99.98	99.35	99.96			
	成果指標(2)		%	5.51	5.85	10.87	5.84	16.17	12.73			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	207,867	208,857	194,241	209,149	221,595	239,633	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等		千円									
	(内) 委託費		千円	81,697	82,231	85,641	82,360	95,272	84,530			
	職員数 (常勤 非常勤)		人	3.81	3.77	3.77	2.35	2.38	1.88			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	34,671	34,156	34,156	21,291	21,563	17,033		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	242,538	243,013	228,397	230,440	243,158	256,666			
	単位あたりコスト(-) ÷		円	9,673	9,681	9,100	9,170	9,686	10,212			
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0				
差引: 一般財源 -		千円	242,538	243,013	228,397	230,440	243,158	256,666				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
18年度の主な取組み			内 容					規模	単位	事業費(千円)		
			街路灯維持管理(委託)							126,324		
			街路灯補修(委託)							95,271		
			その他 ()							0		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 604 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	99.9	活動指標(2)の 18年度達成率%	276.3	18年度予算 執行率%	106.0
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		蛍光灯式の街路灯については、蛍光管取替に際して、従来と同等の光量でこれまでのものより寿命の長い蛍光管を採用した。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	塗装・ランプ交換等の実施回数や、定期的な故障等についての発見率に大きな変化はない。 街路灯管理数値：H5年24159灯、18年25105灯					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	安全・安心への意識が高くなり、防犯の面から道路照明の充実を求める声が多い。					
	今後の予測	区全域での街路灯の設置状況はおおむね満たされており、現状で推移し急激に増加することはないと思われる。修理のコスト増と三波長蛍光ランプの不点率(31.84%)が高いので、安全・安心を含め検証が必要である。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由：道路における安全安心について、夜間における効果は大きく、他に替えがたい。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容：修理などにかかる単価等の共通化を土木部全体で図り、工事にかかる経費の精査を実施済みである。また光熱費についても精査は実施済みである。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容：道路は無料で一般の利用に供されているのが原則であるので、受益者負担は適切ではない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容：工事にかかる経費の精査は実施済みである。今後も単価の精査等は継続するが、大幅な縮減は困難である。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方：		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題 専門的な電気工事技術者や工事資機材・車両を、常時確保している電気工事業界への協働形態を継続する。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果： <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト： <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 改修に際して、現行より消費効率の良い機器の導入を検討し、光量を維持し、消費電力量の削減に取り組みたい。また、紙台帳夜処理を、GISが導入されればより細かな日常管理ができるようになり、効果的な維持補修ができるようになる。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 消費効率の良い機器は、現行機器より高価であることから、費用対効果の検証を十分に行う必要がある。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 現行事業内容については、現状を的確・正確・迅速に把握し、現行予算規模での事業運営に尽力するが、原油価格の高騰により電気料金が増える可能性がある。		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		街路灯新設			整理番号	605		枝番号				
担当部課名		都市整備部杉並土木事務所		コード	222709		連絡先電話番号	4634				
係名		交通安全施設係			上位施策名				No			
予算事業名		街路灯新設・改修		コード	60850		交通安全の推進	6				
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		35 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 1 政策番号 1 施策番号 6 事業コード ####					
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		すべての区道利用者		根拠法令等 (1) 地方自治法第2条第3項第8号 (2) 杉並区街路灯設置基準 (3) 道路法第42条					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		街路灯を新設する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		街路灯を新設し、安全性を向上する。					
	活動指標名(式)		(1) 街路灯新設数 (2) 街路灯設置要望件数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) 街路灯整備率 = 街路灯管理灯数 / (区道延長 × 有効率 / 30) (2) 新設実績数前年度比率					
指標	区分		単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%	
	活動指標(1)		灯	24	28	22	28	15	28	26	57.7	
	活動指標(2)		件	19	40	16	40	18	40	40	45.0	
	成果指標(1)		%	97.77		98.41		98.42				
成果指標(2)		%	85.71		91.66		68.18					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	5,168	5,583	4,188	5,702	4,069	5,880	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等		千円									
	(内) 委託費		千円	5,140	5,432	4,161	5,551	4,069	5,730			
	職員数 (常勤 非常勤)		人	0.08	0.08	0.08	0.05	0.05	0.04			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	728	725	725	453	453	362		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	5,896	6,308	4,913	6,155	4,522	6,242			
	単位あたりコスト(-) ÷		円	245,667	225,286	223,318	219,821	301,467	222,929			
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0				
差引: 一般財源 -		千円	5,896	6,308	4,913	6,155	4,522	6,242				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
18年度の主な取組み			内 容				規模	単位	事業費(千円)			
			街路灯新設(委託)						4,069			
			設計事務所						0			
			その他 ()						0			

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 605 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	53.6	活動指標(2)の 18年度達成率%	45.0	18年度予算 執行率%	71.4
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		現状契約の中で、工事期間を含む完成までの効率的な施工を、業者の協力を得ながら行っている。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	S60年4971灯 H8年16877灯 H12年24502灯 H18年25105灯により全路線に街路灯を設置済みとなったが、当面は継続的に道路改修等が続くため、一定数量の新設が必要となる。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	安全・安心への意識が高くなり、防犯の面から道路照明の充実を求める声が多い。					
	今後の予測	区道の新設は僅かとなるが、水路等で街路灯の設置がない場所が残されているため、今後も現状計画数量を維持し、設置を行っていく必要がある。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)	理由:道路における安全安心について、夜間における効果は大きく、他に替えがたい。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容:					
	成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容:こまめに分散した発注依頼を行い、街路灯新設までの時間を短縮していく。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:道路は無料で一般の利用に供されているのが原則であるので、受益者負担は適切ではない。					
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:工事にかかる経費の精査は実施済みである。今後も単価の精査等は継続するが、大幅な縮減は困難である。						
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題 要望又は新設道路計画を受け、設置基準による公平で効率的な実施計画を区が行い、専門的な電気工事技術者や工事資機材・車両を、常時確保している電気工事業界への協働形態を継続する。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 新設要望から新設完了までの時間の短縮。現在は業者との契約を2回ないし3回に分けている関係から、まとめて業者に依頼することとなる。契約期間をオーバーラップする等の検討を行い、改善をしていく。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 工種数が増えることから、監督員の業務内容が複雑になる。	
	(1) 20年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 現状維持により、こまめに分散した発注依頼を行い、街路灯新設までの時間を短縮していく。

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名			街路灯改修				整理番号	606		枝番号										
担当部課名			都市整備部杉並土木事務所		コード	222709		連絡先 電話番号	4634		昨年度 整理番号	624		昨年度 枝番号						
係名						交通安全施設係			上位施策名			No								
予算事業名						街路灯新設・改修			コード			60850			交通安全の推進			6		
事務事業の概要	事業開始年度			● 昭和 ○ 平成		35 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	施策番号	事業コード							
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規		<input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等								
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		すべての区道利用者			(1) 地方自治法第2条第3項第8号 (2) 杉並区街路灯設置基準 (3) 道路法第42条											
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			老朽化した街路灯を改修する。 ポール・アーム改修は、設置後30年を経過したものを対象とし、器具改修は設置後15年経過したものを対象とし施工を行う。			事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 街路灯を改修し、安全性を向上する。													
	活動指標名(式)			(1) 街路灯ポール・アーム改修数 (2) 街路灯器具改修数			成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 街路灯ポール・アーム = 街路灯ポールアーム改修数/街路灯ポール・アーム改修計画数 (2) 街路灯器具改修率 = 街路灯器具改修数/街路灯器具改修計画数													
指標	区分		単位	16年度 実績	17年度		18年度		19年度 計画	目標値 22年度	目標値に 対する18年度 の達成率%									
	活動指標(1)		灯	454	350	488	350	409	350	350	116.9									
	活動指標(2)		件	922	1,000	677	1,180	654	1,270	1,270	51.5									
	成果指標(1)		%	129.71		139.42		116.85												
	成果指標(2)		%	92.20		67.70		55.42												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	152,892	176,636	170,511	193,225	173,850	214,851	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)										
	(内) 投資的経費等		千円																	
	(内) 委託費		千円	150,959	159,953	168,639	189,836	171,775	210,784											
	職員数(常勤 非常勤)		人	2.94	2.94	2.94	1.84	1.86	1.47											
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	26,754	26,636	26,636	16,670	16,852	13,318										
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	0										
	総事業費 + +		千円	179,646	203,272	197,147	209,895	190,702	228,169											
	単位あたりコスト(-)÷		円	395,696	580,777	403,990	599,700	466,264	651,911											
	財源	受益者負担分		千円																
		国・都等からの支出金		千円																
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0												
差引: 一般財源 -		千円	179,646	203,272	197,147	209,895	190,702	228,169												
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0												
18年度の主な取組み			内 容					規模	単位	事業費(千円)										
			街路灯器具光源改良(委託)							101,301										
			ポールアーム改修(委託)							72,549										
			その他 ()							0										

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 606 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	116.9	活動指標(2)の 18年度達成率%	55.4	18年度予算 執行率%	90.0
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		街路灯の倒壊、落下を防ぐため、点検を重視し、安全確保に努めている。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	街路灯ポールアーム改修数：H5年160灯、H18年409灯 街路灯器具改修：H5年284灯、H18年654灯					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	安全・安心への意識が高くなり、防犯の面から道路照明の充実を求める声が多い。					
	今後の予測	改修時期を迎える街路灯の増加が見込まれる。(15年以上経過している器具灯数2490灯、30年以上経過しているポール本数1594本)					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由：道路における安全安心について、夜間における効果は大きく、他に替えがたい。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容：修理などにかかる単価等の共通化を土木部全体で図り、工事にかかる経費の精査を実施済である。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容：道路は無料で一般の利用に供されているのが原則であるので、受益者負担は適切ではない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容：工事にかかる経費の精査は実施済みである。今後も単価の精査等は継続するが、大幅な縮減は困難である。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方：		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題 専門的な電気工事技術者や工事資機材・車両を、常時確保している電気工事業界への協働形態を継続する。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果： <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト： <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 改修時期は設置環境によって大きく変わってくる。改修数量の増大時期を向かえ、真に改修の必要なものを選別し、年度改修数の平準化を図っていく。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 灯柱を一本づつ性格に劣化状況を把握する人的労力が必要となる。また、サンプル調査方法の確定や、合理的な巡回点検の方法について検討する必要がある。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 年度間での改修数をなるべく平準化し、現行予算規模での事業運営に尽力する。		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		民有灯補修			整理番号	607	枝番号						
担当部課名		都市整備部杉並土木事務所		コード	222709	連絡先 電話番号	4634	昨年度 整理番号	625	昨年度 枝番号			
係名				交通安全施設係				上位施策名		No			
予算事業名				民有灯助成(維持補修)		コード		61100		交通安全の推進		6	
事務事業の概要	事業開始年度			<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		46 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	施策番号	事業コード
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		すべての区道利用者		根拠法令等 (1) 地方自治法第2条第3項第8号 (2) 杉並区街路灯設置基準 (3) 道路法第42条					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			既設街路灯のポール塗装・ランプ取替・故障修理・破損修理および電気料等の支払を行う。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		私道街路灯の適正な維持管理を行い、安全性を維持する。					
	活動指標名(式)			(1) 私道街路灯管理数 (2) 私道街路灯修理件数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 私道街路灯稼働率 = ((私道街路灯管理灯数 × 365日) - 私道街路灯修理件数) / 私道街路灯管理灯数 × 365日 (2) 私道街路灯修理率 = 私道街路灯修理件数 / 私道街路灯管理灯数							
指標	区分		単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%		
	活動指標(1)		灯	8,299	8,325	8,327	8,353	8,345	8,371	8,432	99.0		
	活動指標(2)		件	441	580	706	580	3,195	2,550				
	成果指標(1)		%	99.98	99.98	99.97	99.98	99.89					
	成果指標(2)		%	5.31	6.96	8.47	6.94	38.28					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	23,005	35,897	35,753	36,156	49,434	39,337	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)			
	(内) 投資的経費等		千円										
	(内) 委託費		千円	22,607	35,138	34,974	35,368	48,647	38,551				
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.55	0.55	0.55	0.34	0.38	0.27				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	5,005	4,983	4,983	3,080	3,443	2,446			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	28,010	40,880	40,736	39,236	52,877	41,783				
	単位あたりコスト(-) ÷		円	3,375	4,911	4,892	4,697	6,336	4,991				
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円									
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0					
差引: 一般財源 -		千円	28,010	40,880	40,736	39,236	52,877	41,783					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
18年度の主な取組み			内 容				規模	単位	事業費(千円)				
			民有灯補修(委託等)						30,896				
			私道街路灯故障修理委託(委託等)						18,223				
			私道街路灯維持補修工事(委託等)						315				
			その他 ()						0				

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 607 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	99.9	活動指標(2)の 18年度達成率%	550.9	18年度予算 執行率%	136.7
		活動指標(2)については、受動的な故障発見時の対応のため実績値による。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		塗装、ポールの材質を見直したものを採用し、民有灯の耐性を高めている。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	私道街路灯は概ね一定数量(約8400灯)となり、灯数の増加による故障等も増加をたどってきたが、 管理数値平成5年度8,313灯、平成18年度8,345灯					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	街路灯は区民生活の安全安心のため、必要不可欠のものであり、故障等には迅速な対応が求められている。					
	今後の予測	現状の状態での推移が見込まれる。三波長蛍光ランプの不点率(31.84%)が高いため、修理費が増えている。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:道路における安全安心について、夜間における効果は大きく、他に替えがたい。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容:修理などにかかる単価等の共通化を土木部全体で図り、工事にかかる経費の精査を実施済みである。 理由または具体的内容:					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:行き止まり私道については、利用は特定の者に限られており受益者負担の検討余地がある。また、この場合は、町会取りまとめによる現行の運用方法は見直す必要がある。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:工事にかかる経費の精査は実施済みである。今後も単価の精査等はするが、大幅な縮減は困難である。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題 専門的な電気工事技術者や工事資機材・車両を、常時確保している電気工事業界への協働形態を継続する。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容▼						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 故障の発見と通報に、区民の理解と協力を得ることができるようしていく。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 区民の理解、関心が必要となる。街路灯の重要性や修理等のシステム等の情報を提供していく。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減な <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	現行予算規模での事業運営に尽力する。

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		電気料助成				整理番号	608		枝番号			
担当部課名		都市整備部杉並土木事務所		コード	222709	連絡先 電話番号	4634		昨年度 整理番号	626	昨年度 枝番号	
係名				交通安全施設係				上位施策名		No		
予算事業名				民有灯助成(維持補修)		コード	61100		交通安全の推進		6	
事務事業の概要	事業開始年度		●昭和 ○平成		36年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード	
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 私道街路灯所有町会等の団体・すべての道路利用者		根拠法令等 (1) 地方自治法第2条第3項第8号 (2) 杉並区街路灯設置基準 (3) 道路法第42条							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		申請に基づき私道街路灯電気料の支払などを行う。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 私道街路灯の適正な維持管理を行い、安全性を維持する。							
	活動指標名(式)		(1) 電気料助成灯数		(2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 電気料助成率 = 電気料助成灯数 / 電気料助成申請灯数 (2)					
指標	活動指標(1)		灯	8,606	8,730	8,638	8,664	8,619	8,645	8,706	99.0	
	活動指標(2)											
	成果指標(1)		%	100		100		100				
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	23,521	27,703	22,958	28,322	25,977	33,189	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等		千円									
	(内) 委託費		千円	0	0	0	0	0	0			
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.44	0.44	0.44	0.28	0.28	0.23			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	4,004	3,986	3,986	2,537	2,537	2,084		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	0		
	総事業費 ++		千円	27,525	31,689	26,944	30,859	28,514	35,273			
	単位あたりコスト(-)÷		円	3,198	3,630	3,119	3,562	3,308	4,080			
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0				
差引: 一般財源 -		千円	27,525	31,689	26,944	30,859	28,514	35,273				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
18年度の主な取組み		内 容						規模	単位	事業費(千円)		
		私道街路灯電気料								24,625		
		町会設置電気料								1,352		
		その他 ()								0		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 608 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	99.5	活動指標(2)の 18年度達成率%	18年度予算 執行率%	91.7
		原油の値上がりに伴い電気料金が上昇した。				
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		継続して電気料金の一括前払いサービスを活用し、経費の削減に努めている。				
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	電気料助成灯数 平成10年 8,598灯 平成18年 8,619灯				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	助成申請時の手続きの簡素化を求める声がある。				
	今後の予測	宅地開発等による新設私道の増加に伴い、私道街路灯の新設も若干の伸びがあり、電気料金の増加もありえる。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:道路における安全安心について、夜間における効果は大きく、他に替えがたい。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容:公衆用街路灯の電気料金は、公共料金による契約のため成果の向上はない。 理由または具体的内容:				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:行き止まり私道については、利用は特定の者に限られており受益者負担の検討余地がある。また、この場合は、町会取りまとめによる現行の運用方法は見直す必要がある。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:一括前払いサービスの契約料金を活用する等の精査を実施済みであるため、コストの縮減は困難である。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄		
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題 電気料金の助成金交付であるため、区以外で行うことは適当ではない。				
	(3) 協働等の形態					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 電気料金の助成は町会・自治会へ行うため、多くの一般区民は、その1灯もしくは会の助成金額を知らないことが多いため、料金や他の事項の周知を図っていく。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 広報媒体、機会等が限られていること。職員・組織で意識してPRに努める。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	宅地開発等による新設箇所の増加が見込まれるが、助成に当たっては必ず電気料金やその他の設定について十分説明してゆき、制度の理解を深め、協力を得てゆく。

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		私道街路灯新設				整理番号	609	枝番号				
担当部課名		都市整備部杉並土木事務所		コード	222709	連絡先 電話番号	4634	昨年度 整理番号	627	昨年度 枝番号		
係名 交通安全施設係					上位施策名			No				
予算事業名 民有灯助成(建設補助)					コード		61300		交通安全の推進		6	
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		46 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	施策番号	事業コード
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		すべての区道利用者		根拠法令等 (1) 地方自治法第2条第3項第8号 (2) 杉並区街路灯設置基準 (3) 道路法第42条					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		申請に基づき、私道街路灯を新設する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 私道街路灯街路灯を新設し、安全性を向上する。							
	活動指標名(式)		(1) 私道街路灯新設数値 (2) 私道街路灯設置要望件数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 私道街路灯整備率 = 私道街路灯新設数 / 私道街路灯新設計画数 (2) 新設実績数前年度比率							
指標	活動指標(1)		灯	24	26	28	26	36	26	26	26	138.5
	活動指標(2)		件	28	40	49	40	46	40	40	40	115.0
	成果指標(1)		%	92.00		107.69		138.46				
	成果指標(2)		%	70.00		116.66		128.57				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,249	2,713	2,352	2,636	2,495	2,636	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等		千円									
	(内) 委託費		千円	2,249	2,713	2,352	2,636	2,495	2,636			
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.04	0.04	0.06	0.03	0.05	0.02			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	364	362	544	272	453	181		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	2,613	3,075	2,896	2,908	2,948	2,817			
	単位あたりコスト(-)÷		円	108,875	118,269	103,429	111,846	81,889	108,346			
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	2,613	3,075	2,896	2,908	2,948	2,817				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
18年度の主な取組み			内 容					規模	単位	事業費(千円)		
			街路灯新設(委託等)							2,495		
			その他 ()							0		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 609 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	138.5	活動指標(2)の 18年度達成率%	115.0	18年度予算 執行率%	94.7
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		申請から工事完了まで、長時間待たせることのないように、可能な範囲で調整した。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	事業開始時と比べると数量は小さくなってきているが(H1年8307 H8年8256 H18年 廃灯有り)民間による開発行為が続いているため、一定数量の増加が続いている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	安全・安心への意識が高くなり、道路照明の充実を求める声が多い。					
	今後の予測	現状の状態での推移が見込まれる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:道路における安全安心について、夜間における効果は大きく、他に替えがたい。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容:修理などにかかる単価等の共通化を土木部全体で図り、工事にかかる経費の精査を実施済みである。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:行き止まり私道については、利用は特定の者に限られており受益者負担の検討余地がある。また、この場合は、町会取りまとめによる現行の運用方法は見直す必要がある。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:工事にかかる経費の精査は実施済みである。今後も単価の精査等はするが、大幅な縮減は困難である。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題 区が助成申請を受け、その可否を決定した工事は、民間事業者が行う。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容▼						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 申請により設置(新設)というシステムにより、現在無関心等から申請(設置)していない私道も多く、今後も斬次申請され続けるものと考えられるので、本事業を継続していく必要がある。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 私道は区の道路管理権がなく、「便利帳」等区の広報に対し限界がある。また、開発行為に伴う企業者の新設についても、その後の居住者の状況の変化から問題が出ることも多く、その調整が課題となっている。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減な <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 道路が暗い等の要望に対し、私道に対しては「助成」について説明し要望者並びに近隣住民の理解を得て、基準に照らし合わせ、新設していく。		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		私道街路灯改修					整理番号	610	枝番号		
担当部課名		都市整備部杉並土木事務所		コード	222709	連絡先 電話番号	4634	昨年度 整理番号	628	昨年度 枝番号	
係名 交通安全施設係					上位施策名			No			
予算事業名 民有灯助成(建設補助)					コード	61300		交通安全の推進			6
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		46 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		すべての区道利用者		根拠法令等 (1) 地方自治法第2条第3項第8号 (2) 杉並区街路灯設置基準 (3) 道路法第42条				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		老朽化した私道街路灯の改修工事を行う。ポール改修は設置後30年経過したものを、器具改修は設置後15年経過したものをそれぞれ行う。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 私道街路灯街路灯を改修し、安全性を向上する。						
	活動指標名(式)		(1) 私道街路灯ポール改修数 (2) 私道街路灯器具改修数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 私道街路灯ポール改修率 = 私道街路灯ポール改修数 / 私道街路灯ポール改修計画数 (2) 私道街路灯器具改修率 = 私道街路灯器具改修数 / 私道街路灯器具改修計画数						
指標	区分	単位	16年度 実績	17年度		18年度		19年度 計画	目標値 22年度	目標値に 対する18年度 の達成率%	
	活動指標(1)	灯	41	40	50	40	48	40	40	120.0	
	活動指標(2)	件	204	400	306	400	311	400	400	77.8	
	成果指標(1)	%	102.50		125.00		120.00				
	成果指標(2)	%	51.00		76.50		77.75				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	29,732	30,341	27,825	30,519	27,900	30,519	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)	
	(内) 投資的経費等		千円								
	(内) 委託費		千円	29,060	29,318	27,154	29,396	27,117	29,396		
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.18	0.18	0.18	0.11	0.13	0.09		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	1,638	1,631	1,631	997	1,178	815		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	31,370	31,972	29,456	31,516	29,078	31,334		
	単位あたりコスト(-)÷		円	765,122	799,300	589,120	787,900	605,792	783,350		
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0			
差引: 一般財源 -		千円	31,370	31,972	29,456	31,516	29,078	31,334			
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
18年度の主な取組み			内 容					規模	単位	事業費(千円)	
			私道街路灯器具改修(委託等)							21,558	
			私道街路灯ポール改修(委託等)							6,328	
			その他 (維持管理用品)							14	

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 610 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	120.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	77.8	18年度予算 執行率%	91.4
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		必要な改修を進め、安全を向上させる。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	事業開始時の設置灯数が多く、改修を要する街路灯の数は増加傾向にある。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	安全・安心への意識が高くなり、道路照明の充実を求める声が多い。					
	今後の予測	改修時期となる街路灯の増加が予想される。(15年以上経過している器具灯数5978灯、30年以上経過しているポール本数2165本)					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:道路における安全安心について、夜間における効果は大きく、他に替えがたい。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容:街路灯は全て同一の型式に定め改修工事単価等を定めているため、成果の向上はない。 理由または具体的内容:					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:行き止まり私道については、利用は特定の者に限られており受益者負担の検討余地がある。また、この場合は、町会取りまとめによる現行の運用手法は見直す必要がある。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:工事にかかる経費の精査は実施済みである。今後も単価の精査等はするが、大幅な縮減は困難である。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題 専門的な電気工事技術者や工事資機材・車両を、常時確保している電気工事業界への協働形態を継続する。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 改修時期は設置環境によって大きく変わってくる。改修数量が増大傾向にあるため、真に改修の必要なものを選別し、年度改修数の平準化を図っていく。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 灯柱を一本づつ正確に劣化状況を把握する人的労力が必要となる。またサンプル調査方法の確定や、合理的な巡回点検の方法について検討する必要がある。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減な <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 年度間での改修数をなるべく平準化し、現行予算規模での事業運営に尽力する。 30年以上経過した器具は早急に改修をしていく。		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		通学安全指導業務				整理番号	722	枝番号	
担当部課名		教育委員会事務局庶務課		コード	600110	連絡先 電話番号	1615	昨年度 整理番号	738
係名		教職員係		上位施策名				No	
予算事業名		学校人事・給与事務		コード	72000	交通安全の推進			
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		60 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				根拠法令等		
	区立学校に通学する児童						(1) (2) (3)		
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		区立小学校の児童の通学における安全指導・誘導を行う。 行財政改革実施プランに基づき、学童擁護職員は退職不補充となっているため、学童擁護職員のいない小学校については業務を委託する。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 登下校時に児童を安全に誘導し、事故発生を未然に防ぐことで、児童が安心して通学できるようにする。		
(1) 委託学校数						成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標			
(2) 委託ポイント数(通学安全指導員の立つポイント数)						(1) 登下校での事故発生件数 (2)			

区分	単位	16年度 実績	17年度		18年度		19年度 計画	目標値 22年度	目標値に対 する18年度 の達成率%			
			計画	実績	計画	実績						
指標	活動指標(1)	校	31	32	32	35	35	38	44	79.5		
	活動指標(2)	所	96	100	100	109	109	121	135	80.7		
	成果指標(1)	件	1	0	11	0	18	0	0			
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費	千円	95,485	109,796	103,000	120,677	112,496	13,228	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)			
	(内) 投資的経費等	千円										
	(内) 委託費	千円	95,485	109,796	103,000	120,677	112,496	13,228				
	職員数(常勤 非常勤)	人		0.10	0.10	0.10	0.27	0.27	18年度から組織改正により、職員係、給与福利係が統合されたので、事務分担の見直しを行った。			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	0	906	906	906	2,446			2,446	
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			0	
	総事業費 + +	千円	95,485	110,702	103,906	121,583	114,942	15,674				
	単位あたりコスト(-)÷	円	3,080,161	3,459,438	3,247,063	3,473,800	3,284,057	412,474				
	財源	受益者負担分	千円									
		国・都等からの支出金	千円									
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0				
差引: 一般財源 -		千円	95,485	110,702	103,906	121,583	114,942	15,674				
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					

18年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)
	通学安全指導業務委託		32	校	112,496
	直営		12	校	0
	その他 ()				0

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 722 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	100.0	18年度予算 執行率%	93.2
		新規委託は、学童擁護職員の退職との関係で発生するため、計画と実績に大幅な違いが生じることはほとんどない。 毎年、1～3校程度の新規委託となっている。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		学童擁護職員の退職に伴う欠員分について新規に委託しているため、予算は年々増額となっている。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	信号機や横断歩道、ガードレール等の整備のほか、より安全な通学路の見直しなどの環境整備が進んでいる反面、交通量の増加等により危険度も高くなっている。 学校弾力化により、指定通学区域以外から通学する児童が増えている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	通学時の安全確保に最大限配慮してほしいという要望がある。 不審者による事故が社会的問題となっており、交通安全以外の部分で、通学時の児童の安全確保への関心が高まっている。					
	今後の予測	新規委託学校数の増加や、学校及び保護者からの要望を受けての指導地点の増加が予想され、事業規模は拡大していく。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:通学安全指導員が配置されている箇所での大きな事故報告は受けておらず、児童の安全確保に寄与していると考えられる。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容:委託学校数及び委託ポイント数は、今後も増加が見込まれる。 理由または具体的内容:					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:学童擁護職員の業務を委託している事業であり、受益者負担にはなじまない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:新規委託校が発生する間は、事業費は増加していく。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^)	協働等による成果と課題					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容▼)	委託内容が、シルバー人材センターの業務として適していると考えられるため、地域の高齢者の就業支援に役立っていると思われる。					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 行財政改革実施プランに基づき、事業の委託化を計画どおり継続実施していく。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減な <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 学童擁護職員の欠員に対して委託を進めているので、委託校数の増加が見込まれる。 既委託校から通学安全指導地点の増の要望があった際のポイント数の増が予想される。	

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名			区立小学校の通学路の指定・整備					整理番号	741	枝番号		
担当部課名			教育委員会事務局学務課		コード	601301	連絡先電話番号	1622	昨年度整理番号	753	昨年度枝番号	
係名			学事係		上位施策名					No		
予算事業名			通学路の設置管理		コード	73600	交通安全の推進					6
事務事業の概要	事業開始年度			<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		38 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業		政策番号	事業コード	
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等				
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区立小学校児童		(1) 交通安全対策基本法第4条 (2) 交通安全施設等整備事業に関する緊急措置法、同施行令 (3) 杉並区立小学校の通学路設置要綱						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) (1) 通学路標識の取替え組数 (2) スクールゾーン標示板(バリケード)の配布数								
	活動指標名(式)			成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 通学路標識の取替え組数 (2) スクールゾーン標示板(バリケード)の配布数 (1) 登校時に交通事故に遭った児童数 (2) 子ども安全ボランティア数								
指標	区分		単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%	
	活動指標(1)		組	871	789	792	864	867	1,044	975	88.9	
	活動指標(2)		基	9	9	9	9	9	9	9	100.0	
	成果指標(1)		人	1	0	11	0	18	0	1	1800.0	
	成果指標(2)		人	0	2,200	4,383	5,000	9,030	9,500	10,000	90.3	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	3,986	2,735	3,967	4,343	8,969	5,097	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等		千円									
	(内) 委託費		千円	2,562	2,320	2,300	3,927	3,830	3,121			
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.34	0.30	0.34	0.30	0.30	0.30	0.30		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	3,094	2,718	3,080	2,718	2,718	2,718		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	7,080	5,453	7,047	7,061	11,687	7,815			
	単位あたりコスト(-)÷		円	8,129	6,911	8,898	8,172	13,480	7,486			
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0				
差引: 一般財源 -		千円	7,080	5,453	7,047	7,061	11,687	7,815				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
18年度の主な取組み			内 容					規模	単位	事業費(千円)		
			通学路の大幅見直し					14,404	m	0		
			学校安全マップ基図の作成					44	校	1,260		
			子ども安全ボランティアへのサポート(防犯ベストの購入)					400	着	3,360		
			その他 ()							4,349		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 741 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	100.3	活動指標(2)の 18年度達成率%	100.0	18年度予算 執行率%	206.5
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		16年度から各小学校に印刷配布している学校安全マップの印刷代が予算化されたため、例年の基本ベース予算額より増額となった。また、19年度は、18年度に実施した通学路の見直しによる大幅変更を受け、通学路標識の取り付け箇所変更のため、委託料も増額となっている。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	昭和40年代頃社会問題化したモータリゼーションによる自動車数の増大により、通学路における児童の安全確保のため、通学路の設定・整備や交通規制といった対策が取られて来た。ここ数年は従来の交通安全主導から、防犯へのウエイトが高まり、通学路の見直しをはじめとする防犯上の安全確保へと視点が変化してきている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	通学路の交通安全に対する要望は相変わらず高いものの、一方で防犯上の不安に対する要望苦情も急激に増加してきている。従前の警察や土木事務所との連携はもとより、危機管理室との連携等、さらに幅広いセクションとの連携による対応が求められてきている。					
	今後の予測	児童生徒をめぐる様々な事件が多発する中で、通学時における危機対策の再構築が求められる。今後「学校希望制度」の定着と「適正配置」の進展とともに児童の通学ルートにも変化が生じ、学校・保護者から通学路の新設・変更についての要望がさらに多くなることと思われる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	通学路の指定・整備を行うことで、学校が行う児童に対する登下校時の安全指導と「文」標識やバリケード設置による運転者への注意喚起で交通安全を確保できる。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容:通学路標識によるドライバーへの注意喚起やバリケードによる通学時間帯の時間規制道路への車両侵入阻止等、ある程度の効果は上がっているものとする。 理由または具体的内容:通学時の安全・防犯教育の徹底					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:受益者負担の設定不可					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:通学路における「文」標識の取替えサイクルを見直した(5年 8年)が、標識の耐用年数からすると限界である。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題 従来から地元町会等の協力を得ていた通学路のバリケードの出し入れに加え、昨年度から防犯対応として全小学校で組織化された子ども安全ボランティアは、順調に登録数の増加と見守りの充実化が進んでいる。行政は引き続きサポート体制を継続して行く必要がある。					
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか)に 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 通学路の安全確保については、従来の交通事故の防止に加え、防犯や防災といった視点に立った事業の再構築が望まれることから、通学路の実態把握を行い、通学路沿道の整備や昨年度末に立ち上げた「子ども安全ボランティア」の育成を図るなど、従来のハード中心の施策にソフトの施策を加え、児童連れ去り等の課題に対応して行く。						
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 現在の通学路の交通安全に関わる部門(教育委員会、道路管理者、警察署等)だけでは対応できないため、危機管理・まちづくり・地域振興などに関わる部門との調整及び連携の強化を図る必要がある。						
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし					
(2) 理由 通学路標識の設置やバリケードの作成配布といったハード面での整備は、学校・地域等の要請に応じて、引き続き行っていく。 また、学校安全マップの充実や17年度に全小学校で立ち上げた子ども安全ボランティア組織の拡充等、ソフト面での啓発的な事業展開を図りながら子ども連れ去り事件等の時世の課題への対応を図る。							